

気になる本があったら、  
図書館で借りて読んでみよう！  
もし近くの図書館になくても、  
他の図書館から取り寄せてもらえるよ。  
受付のひとに聞いてみてね。



ドラゴンラージャ 1  
イ ヨンド/作, ホン カズミ/訳  
岩崎書店 2005.12

主人公のフチはドラゴンに捕らわれた父親を救うため、仲間と共に首都へ向かう。エルフ、スパイ、大魔術師、盗賊…様々な人種、種族に出会い、価値観の違いに悩みながら目的のために前へ進むフチたち。しかし、旅の途中“ドラゴンラージャ”をめぐる抗争に巻き込まれてしまう…。大魔術師なのにとっても弱気な人や、突然始まる元王子さまの独り言(剣と喋ってる)など、魅力的なキャラクターがたくさん登場します。ときどき、フチと敵、両方の言い分に納得してしまい、迷子になることも…。なんと12巻まであります！



みんなもフチと一緒に、ながい長い旅へ出発してみませんか？  
(岡崎市立中央図書館 落花生2号)

第7号 (2020年1月31日)

編集 愛知県公立図書館長協議会  
ヤングアダルトサービス連絡会

事務局 愛知県図書館  
名古屋市中区三の丸一丁目9-3  
TEL 052-212-2323



\* 所属館名は執筆当時のものです。

WEB版(バックナンバーも掲載しています) → <https://websv.aichi-pref-library.jp/ya/alc.html>

ティーンのための

## Aichi Librarians' Choice

A・L・C あるく

no.7

愛知県内の図書館員がティーンのみんに  
オススメの本を紹介するA・L・C

# 今回のテーマは…旅!

- 物語を旅する。 … p. 1
- リアル旅。 … p. 4
- 旅のかたち。 … p. 8
- いざ、冒険の旅へ。 … p. 10



旅猫レポート 有川 浩/著  
文藝春秋 2012.11

大の猫好きの悟が出会った猫は、以前に飼っていたハチにそっくりなカギしっぽのナナ。そのナナの目線で綴られる物語。一人と一匹は銀色のワゴンに乗ってナナをもらってくれる人を探す旅に出る。その旅に秘められた秘密と悟のそれまでの人生を語る旧友たちとの心温まるエピソード、さらには動物たちとの交流もあり、悟とナナの旅は最後まで目が離せない展開が続きます。旅の終わりに待ち受けているものとは…。

笑って泣けて最後には温かい気持ちになれる物語です。

(江南市立図書館 ヒトツバタ子)



# 物語を旅する。

## アナザー修学旅行 有沢 佳映／著 講談社 2010.6



足を骨折してしまったために、修学旅行の居残り組になってしまった佐和子(さわこ)。彼女は、ほかにもそれぞれの事情で行けなくなった6人と学校で代替授業を受けることとなるのだが、一緒にのクラスになったことのないメンバーと過ごさなければならぬ状況に緊張していた。ところが、学年一のモテ男・小田が言い出した「賭け」がきっかけとなり、この7人に連帯感が生まれていく。修学旅行へ行けなくなったことをきっかけに、普段交わることがなかったメンバーが過ごす、もうひとつの修学旅行の話です。(碧南市民図書館 でこ)

## 旅屋おかえり 原田 マハ／著 集英社 2012.4

丘えりか(通称・おかえり)の現在の仕事は毎週土曜日放送の旅番組のレポーター。その番組もトラブルで打ち切りに！絶体絶命の中、おかえりファンから思わぬ要望が。「私の代わりに思い出の場所を旅してもらえませんか？」これが旅屋を始めるきっかけになって…。



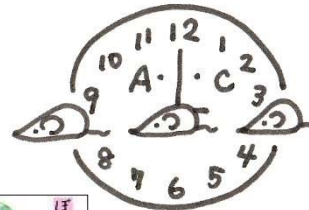
「出かけてみるといろんな発見がある。新しい出会いがある。出かけてみなくちゃ、何が起こるかわからない。だから、とにかく出かけてみませんか。心の洗濯、ひと休み。それでは皆さん、ご一緒に。旅に出ようよ、明日から。いいことあるよ、大丈夫！」  
(江南市立図書館 尤もヒトに近く尤もヒトから遠いモノ)

3巻まであるよ！

## ネズミの時計屋さんハーマックスの恋と冒険 1 マイケル・ホーイ／著 ソニー・マガジンス 2003.6

この物語の主人公、ネズミの時計職人ハーマックスは、壊れた懐中時計を持って来店したネズミの女飛行士リンカに心を奪われてしまった。だがしかし、そんなリンカは、時計の修理が終わってから1週間過ぎてても一向に時計を取りに現れなかった。心配なのか憤りなのか、ハーマックスは複雑な感情を抱えながらも名刺を頼りに彼女の住居へ向かった。そうしてたどり着いた部屋は、なんと中が荒らされていた。一体彼女に何が起こったのか…。ハーマックスの恋と冒険の物語、ぜひ一度読んでみてください。

(知多市立中央図書館 チタゴリラ)



## ぼくらの輪廻転生 さとう まきこ／[著] 角川書店 2010.5

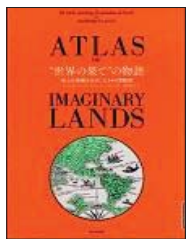
始まりは、ひょんなことから足を踏み入れたクリニックだった。どこにでもいる平凡な高校生であるオレ、向山授(さずく)は、突然見知らぬ世界へトリップしてしまう。最初はロンドンのひどく貧しい少年。次にイタリアの貴族、ある時はナポレオンの側近、そして…。どうやらそれらは授の前世の記憶であるらしい。そして過去の自分に近い存在として何度も登場する人物が、クラスメイトの西村と弥生だと気づく授。彼らの間にある絆が導く先に何かあるのだろうか？ 時空を越えた不思議な旅の先で、授が見つけた答えは——。  
(碧南市民図書館 まる。)

# いざ、冒険の旅へ。



## “世界の果て”の物語 ドミニク・ラニ／著 河出書房新社 2018.7

“女戦士たちの支配地”アマゾネスや“どこにもない国”トゥーレ、そして我々にもなじみがある“黄金の国”ジパング。本当に実在するのか、どこまでが真実なのか分からない古代の地図。すごくワクワクドキドキしませんか。そんな気持ちを抱き、先人たちは世界の果てを目指して旅をしました。さあ私たちが地図の歴史を紐解き、想像力をふくらませて、先人たちの冒険に思いをはせてみませんか？  
(豊橋市中央図書館 ぴー)



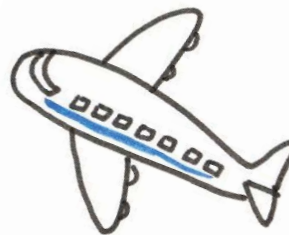
## これは王国のかぎ 荻原 規子／作 理論社 1993.1

失恋して迎えた 15 歳の誕生日、ひろみは目が覚めるとアラビアンナイトの世界にいた。空飛ぶ魔神族(ジン)になり、居合わせたターバンの青年と旅をすることに。大きな港町、サファイアの海、砂漠やオアシス、王国の都バグダード。行く先々で目にするのは、帆船、バザール、姿を変える魔術や空飛ぶ木馬…。失恋の自己嫌悪で「あたしていることを、やめたい」と願ったひろみが、ただの女の子とは全く異なる魔神族になり、冒険をした後にどこを目指すのか。彼女の心の旅にも注目してみてください。  
(愛知県図書館 オレンジ)

## くらげホテル 尾崎 英子／著 KADOKAWA 2018.5

下北沢発→  
フィンランド経由

→異次元へ  
フィンランドの「ホテル・メデューサ」で出会った日本から来た、年齢も性別もばらばらな4人。皆それぞれの事情でこの地にやってきたが…。フィンランドの森の描写が美しく心静かな落ち着いた空気に包まれるファンタジーです。だれにでも生きてゆくうえで様々な選択肢がある。あなたならどうする？  
(あま市美和図書館 Bamusemama)



## フローラ エミリー・バー／作 小学館 2018.2

フローラは17歳。記憶障害のせいで、10歳以降の記憶は短時間しか残らない。パパとママは、そんなフローラを真綿にくるむように家の中に囲っていた。ある日フローラは、ふつうの17歳のようにドレイクとキスをした。すぐに忘れてしまうはずだったのに、次の日も、その次の日もフローラはそのことを覚えていた。「ドレイクといったら、覚えていられるようになるかもしれない」そう思ったフローラは、北極へ行ったドレイクを探しにたった一人で旅に出た。忘れてしまう記憶をすべて書き留めながら。  
(名古屋市鶴舞中央図書館 つぼ)





### マリカの永い夜／バリ夢日記

吉本 ばなな／著 幻冬舎 1994.3



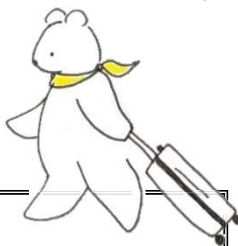
子ども時代の虐待によって、多重人格を持つマリカ。長年にわたって彼女の主治医だったジュンコ先生。二人がバリに旅立つところから物語は始まります。

向いていないと自覚していた医者の仕事を辞め、子育てに専念する予定のジュンコ先生と、ほとんどの人格が統合され、残る一人の「オレンジ」を宿した状態のマリカ。バリ特有の活気や生々しさの中で、それぞれに不安定だった二人は、新たな自分を見出すのです。

そして、これまでも長い時間をかけて信頼関係を築いた互いの間には、親子とも師弟とも友情とも言えるような愛情が育まれていきます。写真や絵も豊富で、二人が訪れたバリに行ってみたくなりますよ。

(刈谷市中央図書館 hk)

# リアル旅。



### I ZUMO (出雲) で幸せ結び

松尾 たいこ／絵・文 小学館 2013.6

日本の神話を讀んだことがありますか？

もし、読んで「おもしろい」と思ったなら、ぜひ、この本も読んでみてください。出雲は神話の舞台になった場所や、登場する神様が祀られている場所がたくさんあります。読むだけで出雲と神話の世界を旅した気分になります。ところで、出雲大社に祀られているプレイボーイの大国主命(おおくにぬしのみこと)ですが、嫉妬深い正妻二人に挟まれて鎮座しているって知っていましたか？ 詳細は本書でご確認ください。

(碧南市民図書館中部分館 ㊦)



### 〈銀河鉄道の夜〉

フィールド・ノート

寺門 和夫／著 青土社 2013.6



宇宙旅行は大変そうだけど、列車に乗ってなら旅してみたい…そんな風に思ったことありませんか？ この本は、言うならば『銀河鉄道の夜』の副読本、銀河鉄道ガイドブックです。

『銀河鉄道の夜』は完璧なファンタジーのようですが、賢治はたくさんの自分の経験を元に非常にリアリティを感じさせる世界観を構築しています。ぜひ、この本をお供に『銀河鉄道の夜』を読み直し、ジョバンニたちの旅をより深く味わってください。

(刈谷市中央図書館 すず)

### 戦国武将巡礼の旅

名将ゆかりの城、神社、博物館、墓を巡る 歴史魂編集部／編 アスキー・メディアワークス 2018.7

伊達政宗や織田信長などのみなさんご存じの有名な武将11名をピックアップしています。武将の生まれ育った城や町、武将のゆかりのものが展示されている博物館、埋葬されているお墓など駅からの道のりを細かく案内してくれます。特にここ東海地区では武将ゆかりの地が多いですよ。近場でも遠くへ旅をするのにも必見です！

(豊田市中央図書館 くるま3号)



### 東京會館とわたし 上・下

辻村 深月／著 毎日新聞出版 2016.8

東京會館は東京・丸の内に実在する、宴会やウェディングなどが行なわれるホールやレストランが入った建物です。創業は大正11年、関東大震災と東日本大震災という二度の大地震、大政翼賛会による徴用とGHQによる接收を経て、2019年1月に3代目となる新本館がオープンしました。

本作は、創業当時の旧館(上)と、建て替えのため2015年をもって閉館した新館(下)を舞台に、東京會館で働く人々とゲストたちの大切な思い出を描きます。時代を超えた、おもてなしのひと時を過ごしませんか。

(津島市立図書館 ★)



# 旅のかたち。

## 杉原千畝 命のビザ

石崎 洋司／文 講談社 2018.7

命のビザを発行したことで有名な杉原千畝。彼の一生は旅に満ちていました。幼少期は韓国で働く父のもとへ。そこで外国語を使う仕事に憧れを持ち、外交官の道へ進みました。苦難はあったものの出世を重ね、満州、フィンランド、リトアニアと赴任地を変えていきます。当時の移動手段は鉄道や船なので、数日で着くものではありません。それでも千畝は行く先々でその国と日本を結ぶ懸け橋となる仕事に情熱を捧げ続けました。現在、彼が助けた人々は「スギハラ・サバイバー」と呼ばれ、世界各地で命を繋いでいます。

(東海市立中央図書館 いまだ)



## ポケットに色をつめこんで

エイミー・グリエルモ／文 ジャクリーン・トゥールヴィル／文  
ブリジット・バラガー／絵 フレーベル館 2018.1

東京ディズニーランドの、世界旅行気分を味わえるアトラクション「イツ・ア・スモールワールド」。そのデザインをした女性、メアリー・ブレアの伝記絵本です。メアリーは子どものころから、引っ越し先の新しい土地や旅行先の外国で様々な「色」を見つけては、それを自分のものとして持ち帰り、斬新な色づかいを仕事に生かしました。自分の周囲にあるものとは違うものを知ることは人生を豊かにします。いろいろなものを見て、さまざまな体験をしよう！

(名古屋市守山図書館 弓)



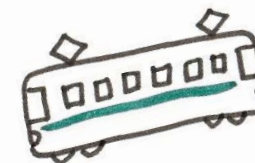
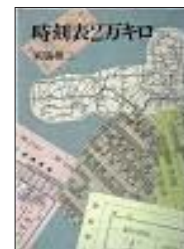
## 時刻表 2万キロ 宮脇 俊三／著

河出書房新社 1978.7

鉄道ファンのことを「鉄ちゃん」と呼び始めたのは、わりと最近のことである。さらに細分化して「撮り鉄」「乗り鉄」などと呼ぶようになった。このうち、乗り鉄のバイブルといべきなのが本書である。国鉄が JR になる直前、全国の路線延長が約 2 万キロであり、そのすべてに乗ることを目指してついに達成した記録である。著者は有名出版社の編集長。経費を考慮して地図は手書きである。その味わいは、文庫ではなくぜひハードカバーで。

(名古屋市北図書館

日向 司(ひなた つかさ))



## 東海道新幹線の車窓は、こんなに面白い!

栗原 景／著・撮影

東洋経済新報社 2016.12

皆さんは「東海道新幹線」に乗ったことはありますか？ 窓から富士山が綺麗に見えると嬉しいものですね。そんな東京から新大阪までの車窓風景の中で、美しいもの、面白いもの、不思議なもの82ヶ所を紹介していて、とても楽しく読めます。愛知県の風景では「知っている！」と歓喜するかも。色々なエピソードやためになるお得情報も載っていて、写真を見ているだけでもワクワクしますよ。きっと新幹線で旅に出かけたくなるでしょう！

(あま市美和図書館 あめちゃん)



## ひとりたび1年生 たかぎ なおこ／著

メディアファクトリー 2006.12

著者のたかぎなおこさんが「ひとりたび1年生」と銘打って1年間色々なところにひとりたびをし、記録したほのぼのコミックエッセイです。ひとりたびへの憧れから大人になって初めて女ひとりたびに挑戦するも最初のうちは、周りの目が気になったり、道に迷ってオロオロ、人に話しかけられてアワアワ。優柔不断な性格でも全部自分ひとりで決めなきゃいけないからだんだん自分の好みや行動パターンが見えてくる?! 大人になったらひとりたびデビューしたくなる、そんな1冊です。

(豊橋市向山図書館 オニコ)



## わたしのマトカ 片桐 はいり／著

幻冬舎 2006.3

近年、フィンランドは人気ですね。ムーミン、マリメッコなどの美しい北欧雑貨、本当のフィンランドはどんな国でしょう？ 女優の片桐はいりさんの目を通して、いきいきとフィンランドが描かれたステキなエッセイです。彼女のコミカルな文章の運びのおかげで現地の人々のあたたかく素朴な様子や情景が目に見えます。読んでいて気持ちが良いです。心に響く言葉がたくさんちりばめられてフィンランドに行きたくなる1冊です。ただ、電車の中では、読まない方が…(笑)(刈谷市中央図書館 みーちゃん)



## おかあさんと旅をしよー。

ムラマツ エリコ／著、なかがわ みどり／著

メディアファクトリー 2006.7

ティーンズのみなさんは、家族で過ごす時間はどれくらいありますか？ 同じ家に住んでいても、学校や部活、塾などで忙しくてすれ違ひになっちゃう時もあるよね。

たまには、ゆっくり家族の時間を作ってみるのはどうかな。この本は、筆者が、お母さんに海外旅行をプレゼントする計画の記録です。「お母さんとの旅の極意」なんかも紹介されています。いつかこんな親孝行をしたいなって考えるのも夢があって素敵ですね。

(岡崎市立中央図書館 落花生1号)



## 辺境・近境 村上 春樹／著

新潮社 1998.4

作家デビューから40年を迎えた村上春樹による旅行記。旅先はメキシコ、ノモンハン、讃岐、神戸など7か所となっておりタイトルにもある通り、海外(辺境)と日本国内(近境)が紹介されている。著者が書く旅行記は小説の世界とは、また趣を異とするものとなっているが、独自の切り口で語られる本書は著者の視点に立ちつつ、それぞれの場所に思いを馳せながら、旅情が楽しめる一冊となっている。

(愛知県図書館 あんこ姫)



## 『恐怖の報酬』日記 酪酊混乱紀行

恩田 陸／著 講談社 2005.4

「飛行機にはどうしても乗りたくない」作者が「恐怖のあまり書き始めてしまった」旅行エッセイである。「イギリスとアイルランドには、とても行きたい。」でも、そのためには飛行機に乗る必要がある。知識も見識もある有名な作家の方が…怖い？ 飛行機が？ そんなに？ そして、自分が恐怖に感じることをこんなに興味深く(おもしろおかしく)書けるのも人気作家の方ならではの才能だ。旅行エッセイなので、ストーンヘンジもテートブリテンもダブリンもパブも、ちゃんと登場します。安心してください。装丁もおすすめのひとつです。お楽しみください。

(刈谷市中央図書館 大熊猫)



## 家をせおって歩く かんぜん版

村上 慧／作 福音館書店 2019.3

この本の作者は、「家」をせおって歩き、何年もかけてさまざまな土地へ行きます。発泡スチロール製の自作の家とともに移動し、各地で家が置ける土地を借りて、「移住」するのです。どうい生活？ と気になった人はぜひ読んでみてください。移住生活の詳細、その土地の人との交流などが、家の写真や詳細でかわいらしい図とともに書かれています。移住生活の出来事がさらに詳しく書かれた『家をせおって歩いた』(夕書房)もおすすめです。

(愛知県図書館 びえる)

